

○ 委員長報告

1 2月定例会本会議で報告された環境保健福祉委員長報告は、以下のとおりです。

令和3年12月定例会

環境保健福祉委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、原子力防災訓練についてであります。

このことについて一部の委員から、今年度の原子力防災訓練の内容はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、新型コロナの感染リスクを避けるため、一般住民の参加を見合わせ規模を縮小したものの、68機関、約1万9千人の参加を得て、国・県・市町及び自衛隊等の防災関係者間での、緊急時の手順確認に主眼を置いた訓練を実施した。

災害対策本部訓練では、今回初めて、避難者の受入先の市町が参加し、テレビ会議で県内の被災状況等の情報を共有するなど、関係機関との連携を確認することができた。

また、海路避難訓練では、県漁業取締船等を用いた複数ルートの避難を実施し、住民避難体制の多様化を図ったほか、感染症対策も確認したところであり、今後も、様々な事態を想定した実践的な訓練を繰り返し行うことで、防災対策の更なる実効性の向上に努めていきたい旨の答弁がありました。

第2点は、新型コロナワクチンの3回目接種についてであります。

このことについて一部の委員から、前倒しも含め、高齢者への接種に向けた市町の準備状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、3回目接種については、今月から医療従事者を対象に開始され、来月から順次対象が高齢者へと移行していくが、前倒しについての国の方針は現時点では固まっていない。

しかしながら、前倒しがない場合でも、2月以降、高齢者の多くの方が2回目を接種してから8か月経過し、一斉に対象者となるため、接種体制づくりに向けて市町と連携している。

現在、各市町では、医師会等と協議しているところであるが、まずは実施主

体としてしっかりと対応できる接種体制を自前で構築することが重要であると考えており、加えて県が必要なきめ細かい支援を行うことで、3回目接種を円滑に進めていきたい旨の答弁がありました。

第3点は、えひめ結婚支援センターの利用状況についてであります。

このことについて一部の委員から、現在の結婚支援の状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、今年度からオンライン婚活を本格的に導入しており、11月末現在、55回の婚活イベントで175組のカップルが誕生し、そのうち、オンライン開催は29回、72組がカップルとなっている。

また、1対1のお見合いである「愛結び」では、526組の引き合わせで、231組のカップルが誕生し、そのうち、オンラインでは67組中、32組がカップルとなっている。

さらに、今月から、自宅でプロフィールを閲覧できる「おうち de 愛結び」を開始し、サービス向上を図っている。

オンライン婚活は、どこからでも参加でき、対面よりも一歩を踏み出しやすいとの声も届いており、引き続き、利用者のニーズに応じた効果的な結婚支援に努めていきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・外来生物対策
- ・県内の水管橋の状況
- ・災害に備えた自助・共助の意識啓発
- ・えひめこどもの城の休園日の変更と遊具の利用規約
- ・ねんりんピックえひめ大会の開催
- ・新型コロナ検査無料化支援事業

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願2件については、願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。